

第2章 計画指標

(1) 人口フレーム

① 人口

本市のまちづくりの指針として、目標とする人口を設定します。

第3章石巻市の現状での人口・世帯において、コーホート変化率法^{*}により平成28年の人口は147,300人と予測しました。この際、市全体での高齢化率^{*}は31.0%となり、高齢者1人を生産年齢人口^{*}の2人で支える状況になります。このような状況では、高齢者介護一つをとっても、市の財政に係る負担は大きくなります。

そのため、雇用の場の確保や少子化対策を充実し、若年層の流出を抑えることなどにより、年少人口^{*}・生産年齢人口^{*}・老年人口^{*}のバランスのとれたまちを目指し、目標年次の平成28年の人口を154,800人とします。

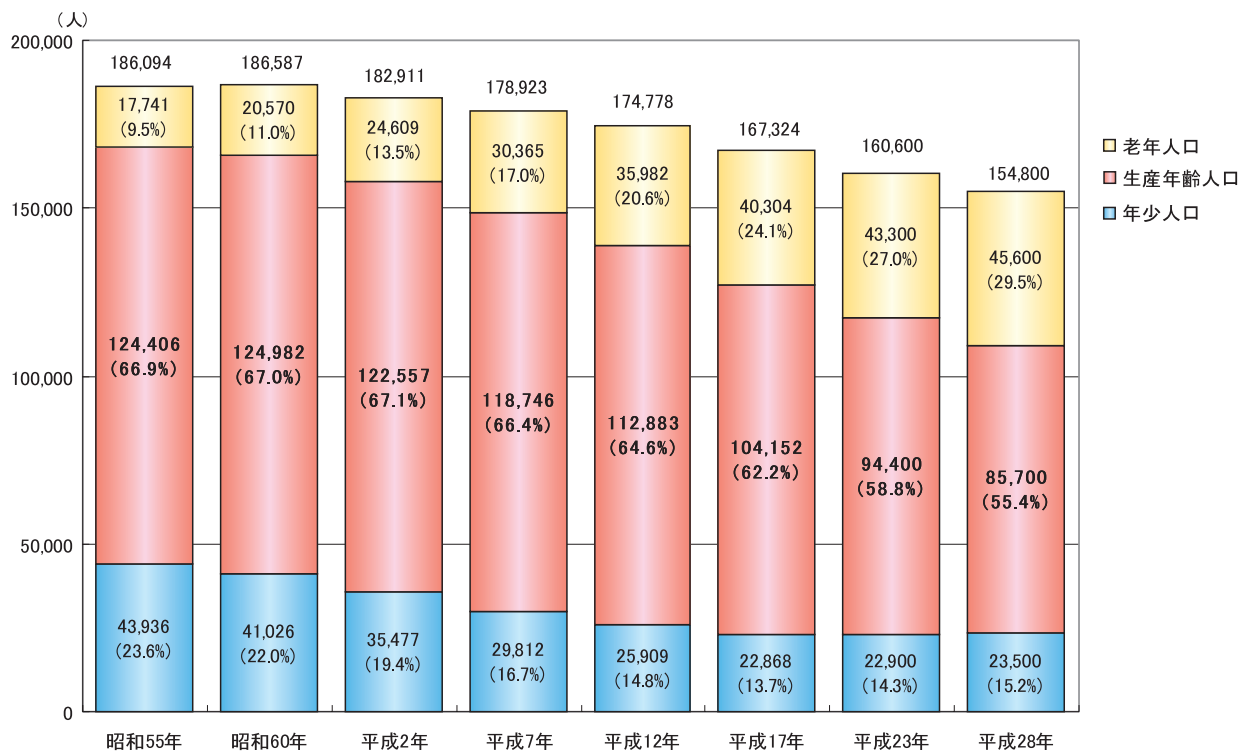


図3 将来目標人口

※総人口には年齢不詳を含み、年齢階層別の合計が総数と一致しない年次があります。

※構成比は年齢不詳を除く人口に対する構成比であり、端数処理の関係上、合計が100%にならない場合があります。

② 世帯数

平成28年の将来人口と世帯構成人員数の推移から、世帯数を算出しました。1世帯当たりの人員は減少することが予測されることから、世帯数は増加する傾向にあり、平成28年で58,900世帯と推計されます。

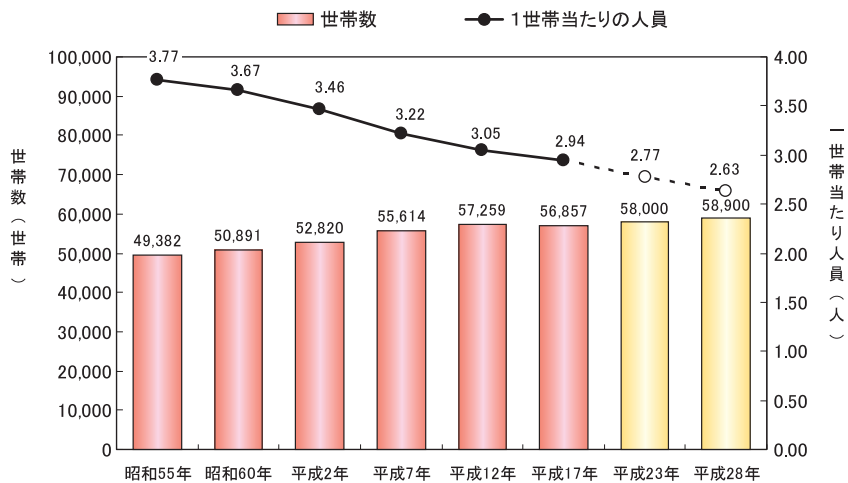


図4 将来目標世帯数及び世帯構成人員数

③ 就業人口

就業人口^{*}については、雇用機会の創出や就労環境の改善を図ることにより就業率が向上することを見込み、平成28年の将来人口と産業別就業人口^{*}の推移から算出しました。

平成28年の産業別就業人口^{*}としては、第1次産業4,700人、第2次産業28,500人、第3次産業45,900人とします。

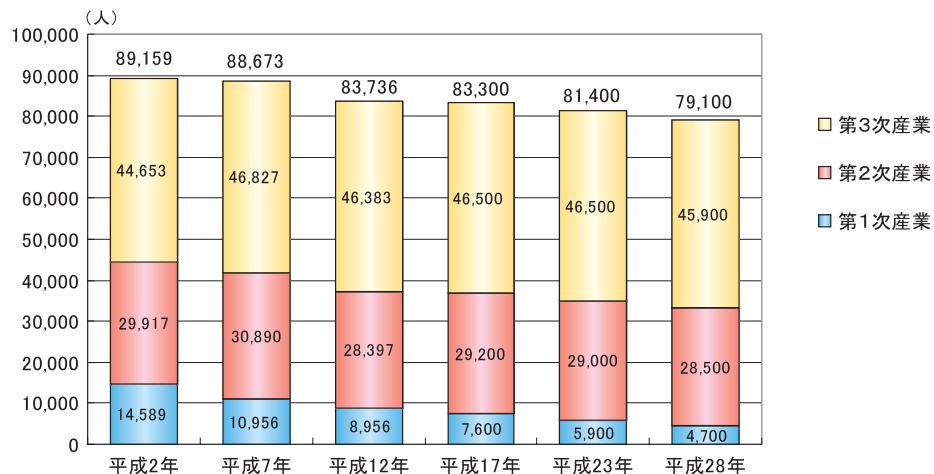


図5 将来目標就業人口

(2) 経済フレーム

本市の産業経済における指針として、目標とする純生産額^{*}を設定します。

先に設定した就業人口^{*}については、人口の減少に伴い、いずれの産業においても減少傾向での目標としましたが、地域産業のより一層の高度化を図り、1人当たりの純生産額^{*}の向上を目指して、目標年次の平成28年の目標純生産額^{*}を4,536億円とします。

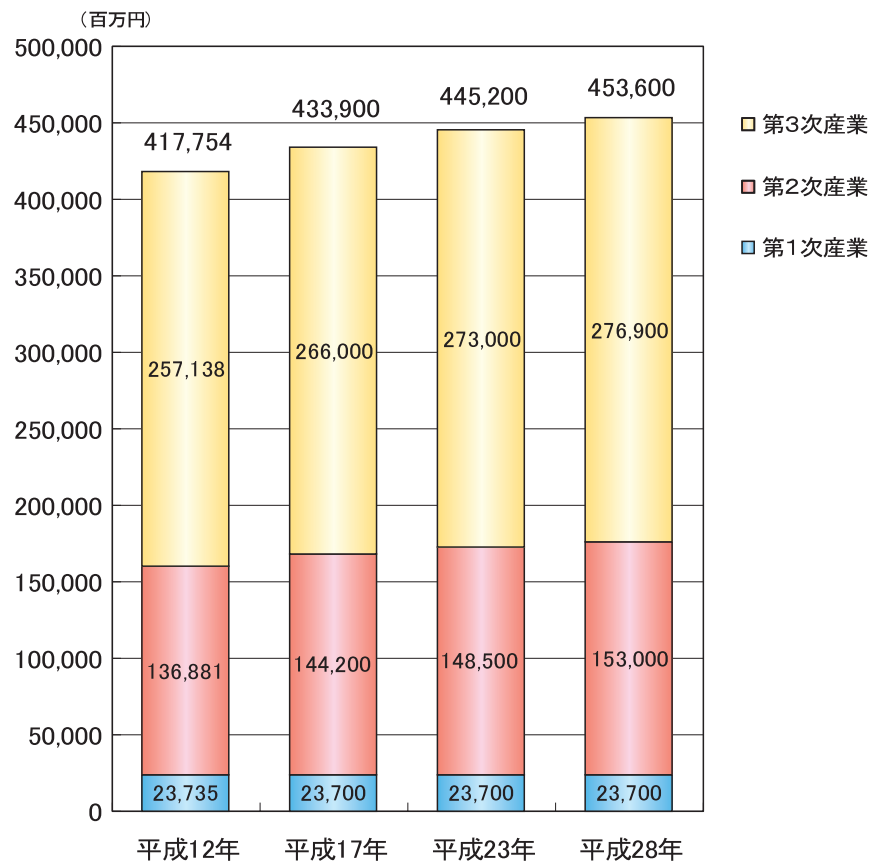


図6 目標純生産額